



12月

ほけんだより



2021年12月1日発行
新川崎みらいのそら保育園

気温が下がり乾燥した気候により、体調を崩す子どもやかゆみの出る子どもが多くなりました。今年も残り1か月です。元気に過ごせるよう、手洗いうがい等の基本的な感染対策を行い、体調の変化を感じたら早めに休息をとりましょう。また、特に肌が乾燥しやすい乳児は、朝夕保湿剤を塗るようにしましょう。

覚えておきたい 感染症

症状



○感染性胃腸炎○

頻回の嘔吐、水のような下痢、腹痛、発熱。ウイルスの種類によって嘔吐や発熱が目立たないこともあります。細菌性では血便を伴うこともあります。

対応

脱水症状を引き起こしやすくなります。吐き気が治まったら少量ずつこまめに水分補給を行いましょう。

《登園の目安》

「嘔吐と下痢が治まり、いつも通りの食事ができる」

症状

○溶連菌感染症○

高熱、のどが真っ赤な腫れ・痛み、全身の発疹、舌にいちごのような赤いぶつぶつができます。

対応

抗菌薬は最後まで飲み切りましょう。治った後も、急性糸球体腎炎になるリスクがあるため医師の指示通り再受診し尿検査をしましょう。

《登園目安》

抗菌薬治療を開始して24時間経過し、主要症状が消失するまで登園停止。

症状

○手足口病○



手のひら、足の裏、口の中やおしりに小さな（米粒大）の発疹や水疱ができます。痛みやかゆみを伴い、発熱することもあります。何度も罹患することがあります。

対応

口腔内の水疱により食事時に痛みを感じることがあります。甘く冷たい物・スープなどのどごしのよい物をおすすめします。

《登園の目安》

「発熱がなく、全身状態が良好で普段通りの食事ができる」

症状

○ヘルパンギーナ○



高熱、のどの奥に白い水疱ができる。のどが痛み、食事を嫌がる場合があります。

対応

痛みが強い場合はのどごしのよいものを食べましょう。水分がとれない状態が続く場合は病院を受診しましょう。

《登園の目安》

「症状が消失し、普段通りの食事ができる」

せきが出る ときは……



マスクをつける

せきのしぶきが広がらないようマスクをつけましょう。
※2歳以下はマスク×

せきが出た時手で押さえると、手を介してしぶきが広がります。とっさのときはひじで押さえましょう。



マスクをつけていないときはひじで押さえる

加湿する



加湿をしましょう。また寝る時は、背中の下にクッションなどを当てて少し上半身を起こしてあげましょう。

川崎市救急医療情報センター
044-739-1919



子どもだけでなく、大人の急病時も24時間365日
これから受診できる市内医療機関、民間救急車、
タクシーの手配を案内してくれます。
年末年始等医療機関がお休みの間参考にしてくだ
さい。

11月の報告

流行性感染症の発生はありませんでしたが、急性中耳炎や発熱・咳・鼻水でお休みする子どもが多くいました。

*8日(月)：身体測定0-2歳児

*9日(火)：身体測定3-5歳児

保健指導うちゅう組「和式トイレの使い方」

*15日(月)三者連携集会「風邪予防について」

12月の予定

*9日(木)：身体測定0-2歳児

*10日(金)：身体測定3-5歳児

*28日(火)：園医健診0-1歳児

*12月は幼児クラスで「咳エチケット」の保健指導を行う予定です。